

令和4年度 保育所における自己点検・自己評価

園名 香里敬愛保育所

※今年度の園の保育・教育全般を総合的に評価し、
次年度の保育計画に生かせる方向で記入する。

〔記入方法〕

A、B、C、Dの4段階評価。該当する欄に○をする。

A：あてはまる
B：ややあてはまる
C：ややあてはまらない
D：あてはまらない

項目	内 容	評 価				意見・改善策
		A	B	C	D	
保育目標について	(1) 保育目標の具現化に向け、乳幼児の実態を踏まえた重点目標を設定しているか。	○				主体的対話的学びの実現が示されてから、目標もその方向で設定。心がはずむ遊びを考え継続して行うようにしている。
	(2) 目標は、各施設や地域の特色を生かしているか。	○				
	(3) 目標は、社会の要請や保護者の願いを反映しているか。		○			
	(4) 目標は、前年度の反省を生かしているか。		○			
	(5) 目標は、全職員で検討し、かつ共通理解を図っているか。		○			
保育について	(1) 指導計画は乳幼児の実態に即して作成しているか。	○				沢山の遊びを経験してもらう中で、時間や内容を無理なく設定していく必要がある。 子どもの姿から、保育を計画し身の回りのもの等環境を工夫し保育している。
	(2) 保育所保育指針に基づく援助・支援を適切に行っているか。		○			
	(3) 環境の構成を意識した保育や過程を常に工夫しているか。	○				
	(4) 素材・用具を適切に活用しているか。	○				
	(5) 評価結果を基に、保育の改善に努めているか。	○				
日時程	1) 1日の流れ(デイリープログラムなど)は現行でよいか。	○				
行事について	(1) 行事の種類や実施回数は適切か。			○		現行で満足されている方や、園の行事や取り組みで入所を希望されている方もいる。改善できることもあるため、内容の変更や検討を行っていく。
	(2) 行事のねらいを計画や実施に十分生かしているか。			○		
	(3) 乳幼児の活動範囲を明確にし、自主的・実践的な活動にしているか。		○			
	(4) 計画・実施・評価・改善の体制をとっているか。		○			
	(5) 保護者の願いや意見を取り入れているか。		○			

◎保育の計画の編成と実施を支える諸条件に関する評価

項目	内容	評価				意見・改善策	
		A	B	C	D		
経営・組織	分掌・体制	(1) 能率的、合理的な運営組織になっているか。			○		若手職員が増えない、続かない現状が続いている。全ての職員が働きやすい環境づくりを目指して、業務改善会議の開催などを実施している。
		(2) 職務内容が明確で、協働できる体制になっているか。			○		
		(3) 職員の配置は適材・適所か。			○		
		(4) 係や仕事の分担・割り当ては適切か。			○		
	運営	(1) 各種会議を適切かつ効率的に進めているか。			○		職員間の対話が大事な中で、時間確保が現状厳しいが、合間を縫って必要な会議を行っている。
		(2) 職員相互がそれぞれ全体的立場を理解し、協力や助言を惜しむことなく施設の運営に関わっているか。			○		
		(3) 打合せ回数、時間、内容は適切か。			○		
	年齢別・クラス経営	(1) 年齢別・クラス目標は、保育目標や重点目標に基づいて設定しているか。	○				
		(2) 年齢別・クラス目標は、乳幼児の実態に即して設定しているか。	○				
		(3) 年齢別・クラス目標に迫る短期・長期のねらいは適切に設定しているか。	○				
		(4) 同年齢及び異年齢児間の効果的な活動の充実を図っているか。		○			
		(5) 意義や趣旨を理解したチーム保育を行っているか。	○				
		(6) 評価、資料（諸記録）を集積しているか。	○				
	保健・安全指導	(1) 年齢別・クラス経営に生かされるような具体的な保健対策を講じているか。	○				R5年度より保育所でも安全計画の策定が必要となる。 子どもへの安全教育とともに、職員へ事故防止のための研修や手順を取り入れている。
(2) 避難訓練・交通安全指導を、計画に基づいて適切に実施しているか。			○				
(3) 健康・安全な生活に必要な習慣や態度育成のため、家庭への啓発を行っているか。		○					
(4) 乳幼児の安全確保のため、家庭・地域社会・関係機関等と連携を図っているか。		○					
研究・研修	所内研究・研修	(1) 研究主題は、保育目標の具現化につながるものであるか。	○				
		(2) 所内研修の計画・運営は適切か。	○				

		(3) 研究の成果を日常の保育に生かし、乳幼児の育ちに反映させているか。	○			
		(4) 研究の実践による乳幼児理解が深まりを見せているか。	○			
	所外研究・研修	(1) 各種研究会、研修会、講習会への参加態勢の充実を図っているか。	○			
		(2) 各種研究会、研修会、講習会での内容を所内に還元しているか。	○			

項目	内容	評価				意見・改善策	
		A	B	C	D		
情報について	(1) 乳幼児や保護者に関する個人情報に適切に取り扱っているか。	○					
	(2) 公文書收受、発送、処理を適切に行っているか。	○					
	(3) 各表簿は、適切な時間・方法で作成・処理しているか。	○					
施設・設備	(1) 施設内外・設備の安全点検を計画的に行っているか。	○				避難訓練は年12回、防犯訓練の回数も増やし、対応力をつけていきたい。	
	(2) 遊具・用具等を、活用しやすいように整理・保管しているか。	○					
	(3) 不審者等に対応する周到的配慮を行っているか		○			施設の構造上、お知らせ（掲示）が複数箇所ある。掲示板を増やし、一カ所で効果的にお知らせができるようにする。また、R4よりよいコネットを活用し配信している。	
	(4) 非常災害時を想定した対策を行っているか	○					
	(5) 掲示板、掲示場所等を適切かつ効果的に活用しているか。		○				
出納・経理	(1) 各種会計を適正かつ適切に処理しているか。	○					
開かれた保育所づくり	施設間交流・連携	(1) 他施設等との年間交流計画は、保育目標や課題に添ったものになっているか。	○			今年度枚方市香里地区の保幼小がかけはしプログラムに参加。（5歳児と1年生の2年のつながり）自園も管理職、5歳児担任が研修に参加。保幼小の私立公立間のつながりが広がっている。今後は多数の職員も参加機会を作り共通理解を図る。 就学前には、就学予定の全小学校におたよりとともに、引継ぎを行っている。	
		(2) 他施設等の幼児・児童・生徒と触れ合う中で、（乳）幼児が楽しく過ごし充実感を味わうことができるような配慮や援助・支援を行っているか。		○			
		(3) 指導者どうしが、打合せや事前研修・合同研修を行い、互いの保育・教育に対する理解を深め、援助について共通理解を図っているか。		○			
		(4) 参観や保育・授業等に参加するなどして、幼稚園・小学校の教育を理解しているか。		○			

		(5) 日常的に情報を交換し、それを交流活動に生かしているか。				○	
家庭・地域社会との連携		(1) 保護者以外も対象にした参観日等を設定しているか。		○			
		(2) 保護者を含む地域の人材活用の時期・内容は適切か。			○		この3年はコロナ禍で交流が十分にできなかった。令和5年度は復活していきたい。
		(3) (乳) 幼児の興味や関心に基づいて地域社会・その他の施設と交流しているか。		○			
		(4) 地域の行事に積極的に参加し、地域の文化や生活に触れているか。				○	地域の特徴上、活発な交流がない中で、こちらからのアプローチが必要である。

開かれた保育所づくり	子育て支援の推進	(1) 地域の子育てセンターとして、園庭や中庭、保育室等を開放しているか。	○				未就園児の利用が減ってきている。利用しやすい施設や保育内容を目指していく。
		(2) 地域に住む子どもどうし、あるいは親子と一緒に遊ぶことができるような場の設定を行っているか。	○				
		(3) 「子育てについて」など、保護者を対象とした学習の機会を設定しているか。		○			
		(4) 職員による育児に係る「子育て相談」は充実しているか。			○		
		(5) 医療機関、児童相談所等の専門機関と連携を図り、保護者にとって必要な情報を提供しているか。		○			
	情報の発信	(1) 保育所だより・クラス通信、ホームページ等で施設の情報を発信しているか。	○				
		(2) 行事や子育て支援事業等を、地域の連絡会や児童施設、小学校に対して周知しているか。		○			
	外部評価	(1) 第三者評価を導入し、施設運営に反映しているか。			○		令和6年1月受審。 法人内では、毎年内部監査を行い適正なサービスが行えるようにしている。
		(2) 地域や保護者の意見を施設運営に反映しているか。	○				

※この「保育所における自己点検・自己評価」は事業所全体で行った自己評価です。